

きょうたなべ

のうぎょう委員会だより

農業委員会
ホームページ →



No.102

令和8年3月1日発行
広報アイデア委員会

3

月号 2026



ほんし さいばい 本市のハウス栽培

京田辺市では、ハウス栽培も盛んに行われています。

飯岡地区において、ごきょう五京株式会社（代表大石 寛さん）がサラダ菊菜やレタスを水耕栽培されています。

左側 代表 おおいし ひろし大石 寛さん（43歳）

右側 従業員 ふくだ しょうご福田 祥吾さん（20歳）



今回のプレゼントクイズの景品は、
京田辺市産の季節の野菜セットが当たります。

6ページ目に掲載

今号の表紙は、飯岡区内のハウスで主にサラダ菊菜を施設栽培（水耕栽培）されている「五京株式会社」さんです。



ハウス内で菊菜の管理作業を行う従業員員の福田さん

代表の大石寛さんは、レタスの水耕栽培をされている事業所で研鑽を積み、令和3年には本市の新規就農者として認められました。現在ではハウス2棟750㎡の面積で、「サラダ菊菜」を主力作物として約13t生産されています。出荷先は、大阪方面が主ですが、本市内のスーパーや近隣の農産物直売所にも出荷されているとのことです。

今後、京田辺での事業経験を活かして、生活拠点の大阪近郊にも栽培場所を拡大、サステナブルな農業経営の展開を目指されています。

効能抜群ですと笑いながら語ってくださいました。

カリウム、カルシウムなどが豊富で、肌の健康維持や免疫力向上、風邪予防には効果があるとのこと。代表の大石さんも、黒々とした髪の毛をかき上げながら、

“サラダ菊菜”は、競合者の多いレタス栽培に代わるものを探していた代表の大石さんが、突然閃かれた野菜で、その薬理効能に魅せられたとのことだそうです。生野菜として召し上がると、葉は柔らかく、菊菜特有の苦みが無く、βカロチン、ビタミンC、

代表 大石さん(43歳)の人となり



福岡県出身。熊本の大学農学部を卒業後、企業において大規模施設の造園・管理業務を経験。平成28年の熊本の震災後の農家の惨状を目の当たりにして一念発起、平成30年に農家支援のコンサルティング会社「五京株式会社」を設立。本市で、水耕栽培技術を研鑽後独立。個人経営の農業では、跡継ぎが無ければそこで培われた技術は途絶えてしまうが、法人であれば事業の継承が可能と、後進育成のためにも法人としての農業経営を推進されています。

特集

春の食材 しろ菜

京田辺市では非常に珍しい“しろ菜”を栽培するのは、佐野さんと森さんです。お二人からお話しをお聞きしました。

佐野さんは、地元西八区にある約2反（2,000㎡）の農地でビニールハウス2棟を使って栽培、森さんは佐野さんを見習って、しろ菜栽培にチャレンジされています。

古くから関西で親しまれてきた“しろ菜”は、他の農家と競合しない農作物を作り、安定した出荷数や価格が期待できるため、“しろ菜”に焦点を当てたそうです。

主な出荷先は東京。関東では京都産というブランド価値が付きまします。シャキシャキした食感と上品な甘味が特徴で、さっぱりした煮物・おひたし・漬け物から、しっかりした味付けの油炒めまでおいしくいただけます。



江津区 森 岳さん

京田辺市内での販売は農産物直売所で見られる程度なのが残念ですが、デリケートなしろ菜を安定出荷することは難しいといこととでし



た“しろ菜”は、白菜と体菜の交配品種で、内側に結球する白菜とは区別されています。佐野さん



西八区 大住 健次さん

お米を守るために 知ってほしい外来生物 ージャンボタニシとタゴボウー



村瀬 梓 委員

私たちの食卓に欠かせないお米は、地域の田んぼで大切に育てられています。しかし近年、

その田んぼで「外来生物」による被害が増えていることをご存じでしょうか。代表的なものが、ジャンボタニシとタゴボウです。

ジャンボタニシは、もともと外国から入ってきた巻き貝で、ピンク色の卵が特徴です。田植え直後の柔らかい稲を食べてしまい、短時間で広い範囲に被害が出るがあります。被害を受

けると苗を植え直す必要があります。農家の負担が大きくなります。

一方、タゴボウは外来の水生物です。田んぼや用水路で増えると、稲の成長に必要な栄養や日当たりを奪ってしまいます。また、用水路が詰まり、水の流

れに影響を与えることもあります。見た目は地味ですが、放置すると被害が広がるため、早めの対応が重要です。

これらの外来生物が増えている背景には、気候の変化や、地域全体での管理が難しくなっていることがあります。お米づくりを守るためには、農家だけでなく、地域みなさんが現状を知り、関心を持つことが大切です。日々の暮らしにつながる農業を、みんなで支えていきましょう。



ジャンボタニシ被害にあった田



ジャンボタニシ被害の苗



タゴボウ



えび入焼き えび入揚げ

三山木山本区の中川^{ひろし}博さんは、かきもちを作って販売されています。中川さんのかきもちは、ご自分の田んぼのもち米で、添加物を使用しない自然のおやつです。

かきもちは、もともとはお正月のお鏡もちを切って、炭火や油で揚げたものです。おかきは、かきもちを丁寧に言いまわした言葉です。手間はかかりますが、昔ながらのおやつとして親しまれています。



製造者の中川博さん（にこにこ市にて）

京田辺のお菓子 “かきもち”

購入ご希望の方は、JA農産物直売所「にこにこ市」などでお求めください。

かきもちを購入できる場所

にこにこ市

京田辺市三山木
中央四丁目4-7



JR・近鉄
三山木駅
徒歩3分

営業日：年中無休
(年末年始・特休日除く)
AM9:30~PM4:00

普賢寺ふれあいの駅

京田辺市普賢寺
小田垣内62



JR・近鉄
三山木駅
徒歩30分

営業日：
定休日：水曜日
AM8:00~PM3:00



川端 美恵 委員



① しろ菜と塩こんぶのごま油あえ

- しろ菜 1束
- 塩こんぶ ひとつかみ
- ごま油 小さじ1
- 白ごま 適量

作り方

● しろ菜は細切りに。全部混ぜて5分置く。漬物感覚でフレッシュ！

しろ菜は、お揚げさんと一緒に 煮びたしが一般的で、おいしいです。今回は、時短・安価・簡単な、お酒などにもあうレシピを3品紹介します。

② しろ菜とツナの和風マヨ炒め

- しろ菜 1束
- マヨネーズ 大さじ1
- ツナ缶 1個
- しょう油 小さじ1

作り方

● しろ菜を軽く炒め、ツナを加え、しんなりしたら、マヨネーズ、しょう油で仕上げる。コーンを加えてもOK



③ しろ菜とベーコン(アンチョビ)炒め

- しろ菜 1束
- ベーコン(アンチョビ) 1~2枚
- にんにく 少々
- オリーブオイル 大さじ1

作り方

● フライパンにオリーブオイル、ベーコン、にんにくを入れて炒める。香りが出たら刻んだしろ菜を投入。さっと炒めて完成。 レモンを絞ると大人味。

のう ぎょう い いん かい かつ どう ほう こく
 農 業 委 員 会 活 動 報 告



嶺南地域有害鳥獣処理施設・若狭ジビエ工場の視察の様子

農業委員会では、令和7年11月6・7日、福井県若狭町で運営されている集落営農組合や有害鳥獣処理施設、同県あわら市の新規就農者への支援施設「ふくい園芸カレッジ」などを視察しました。若狭下吉田地域では「農事組合法人若狭下吉田営農組合」を、平成24年に設立



集落営農について説明する若狭町農業委員長

なで行うこととされています。基本方針は、集落の田を皆で守る。水管理・草刈り作業もみんなで。専従者は無く、土・日主体で農作業を行っておられ、お米の収益は、作業賃金として支払う仕組みを取っておられます。同地区営農組合の運営状況は、スタートされています。

先進地視察研修報告

■ 若狭町下吉田地区集落営農組織から 設立までのお話しを聞きしました。

農業委員会では、令和7年11月6・7日、福井県若狭町で運営されている集落営農組合や有害鳥獣処理施設、同県あわら市の新規就農者への支援施設「ふくい園芸カレッジ」などを視察しました。若狭下吉田地域では「農事組合法人若狭下吉田営農組合」を、平成24年に設立

平成19年には集落内の農家で組織している「協業組合」と個別に営農されている農家3戸との農家任意組合(個別農家3戸+協業組合=営農組合)としてスタートされています。

谷村 雅昭 委員

きょうたなべの山村 古きよき時代を継承

水取区の新一年行事



藤林 弘義 委員

水取は、他の地域に比べて地元での行事が盛んです。区の行事であれば運動会、カラオケ大会、昔からの行事であれば講やとんどさん（一般的な呼び方であれば左義長）、子供会、婦人会、お寺の行事も継続しています。

コロナ禍騒ぎで一旦取りやめになった行事も、役員さんや世話役さんのおかげでなんとか継続しています。

各団体の会合や行事も出来るだけ重ならないようにスケジュールを組んで参加できるように調整を行うようになっています。

他の地域に無い行事としては、年賀交換会があります。1月1日の深夜1時から区民が浄楽宮といっても小さいお宮ですが、そこに集まってお詣り、年の初めのあいさつや福引を行います。小さい子供もこの日とカラオケ大会の日は、親公認で深夜まで遊びます。

年賀交換会も当日朝から区の役員さんが掃除、焚火の用意、景品の搬入と努力してくれているおかげで開催されています。

水取は農業地域なので昔から共同作業で協力して農地を守ってきました。農地は皆で守るという気持ちで、獣害対策も行っています。周辺の住民の顔が分かる地域は住みやすく、事故、災害にも強い地域になります。この状態を続けてゆく必要があります。



年賀交換会の様子



とんどさんの様子

タナフェスとJAまつりで“もち”を販売

農業委員会では、地元産のお米の消費拡大を積極的に進めています。

ぜひ、地元産のお米を、皆さんに味わって欲しいと思います。

そんな願いから、農業委員会では市やJAのイベントでもちの販売を行っており、大変好評を得ております。

小さな農家の地道な米づくりを、地域のみなさんが応援して欲しいと願っています。

市長へ農業施策への意見書を提出



上村市長へ意見書を提出する
澤田会長と米田会長職務代理者

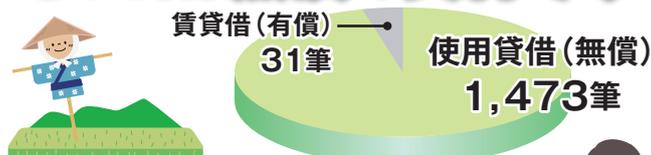
農業委員会は、令和7年12月9日に市長に対して農業施策についての意見書を提出しました。

意見書の提出は、地域の農業者の声を直接届けることで、市の農業振興を図ることを目的に毎年行っているものです。

意見書では、本市ではほとんどが小規模な農業である特徴から、小規模農業者への直接支援策の充実や、地域の農家組合等へのさらなる支援、ほ場整備などの農地の基盤整備への積極的な対応などを求めています。

農地の貸し借り 状況報告

97%は無償の契約です



令和7年は、1,504筆ありました。その内、約97%が使用貸借(無償)の契約です。

※農地の貸し借りは「利用権設定(相対契約)」が廃止され、原則として農地中間管理機構を通じた貸借になりました。

貸借料は、農業委員会 農地の貸し借りのご相談などが定めるものではなく、は、各地区の農業委員会の貸し手と借り手が話し合い、委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。合意して決めるものです。



水取区



「いにしえから行き交う 人の分水嶺となる集落」

水取の地名の由来は古く「水取司」という灌漑用水管理の役職を担った人物に由来すると考えられています。

その役職を務めた人は「左京神別水取連」と記されており、饒速日命の六世孫である伊香我色乎命の子孫と伝えられています。

この「水取連」がこの地域に住み、水利管理の役割を果たしたことから、「水取」という地名が生まれたと考えられています。

各方面への分岐点になり、西に行けば枚方経由の大阪、南に行けば生駒経由の奈良、北に行けば京田辺市内を抜けて京都へゆく分岐点になります。

川は、水取の中心を流れる普賢寺川へ、高船からの鬼灯川、天王からの鑄川が合流し木津川へ流れています。昔から川による水利で稲作が中心で比較的耕作地が維持されています。

この地域は通称です

が谷を『だん』と読み菰谷、信谷、光明谷と読みます。平地は耕作



水取司碑



水取区 藤林 弘義 委員

がかなり維持されていますが谷あいになると耕作がされていない谷があります。どうしても水利や獣害で耕作をやめる人が多くて耕作が維持されている谷はごく少数です。自分も先祖からの谷の耕作地を維持しようとしています。そのため池道の整備、獣害対策と平地の耕作地に比べて手間がかかります。

反面、面白いこともあります。耕作地を荒らすいのしし、あらいくまにも出会いますがうさぎ、さじ、たぬき、いたちといった動物にも遭遇し、車の騒音も届かず鳥の鳴き声を聞きながら作業ができます。谷なので周辺は、里山になります。春にはたけのこ、わらび、うどなどの山菜も豊富で楽しめます。冬には、いのしし除けの柵の補修をしながら竹林に藁と土を入れ、木を集め、薪や杭の材料にして竹は竹細工の材料にするなど春からの耕作の準備をしながら里山生活を楽しんでいます。



谷あいの農地風景

農林水産大臣表彰を受賞

多年にわたる組織活動の中で、地域農業の広報活動や遊休農地の活用推進（レモンプロジェクト等）など、地域農業の振興に貢献した功績が認められ、令和7年12月1日付けで「令和7年度農業委員会等農林水産大臣表彰」を受賞しました。表彰伝達式では、京都府の小瀬農林水産部長から澤田会長へ表彰状が伝達されました。



府小瀬農林水産部長から澤田会長へ表彰状が伝達

編集後記 | 谷村 雅昭 委員



今号では、委員会管外視察先の福井県の集落営農組織を取り上げました。視察先では、効果的な害獣対策や新規就農支援カレッジ等の事業も研修することができて、これからの本市の取り組むべき農業の方向性を垣間見たように感じました。今、どこのまちの農家も悩みと不安を抱えています。農業を担う私たちが希望の持てる明るい未来の農業の姿を発信し続けなければと、思いを新たにしています。

プレゼントクイズ

フレッシュ！とれたて京田辺市産季節の野菜セット

3名様

今号のクイズ

もともとはお正月のお鏡餅を切って、炭火で焼いたり油で揚げたりしたおやつです。

きもち ○に入るひらがなは？ (ヒントは3ページ)

応募期限 令和8年3月20日(金)まで(当日消印有効)

当選通知時期 令和8年4月

郵送先 農業委員会事務局 〒610-0393(住所不要)

☑ nougyo@city.kyotanabe.lg.jp 件名:「農業委員会クイズ」

記入内容 ■クイズの答え ■住所 ■氏名 ■年齢 ■電話番号 ■ご意見・ご感想

プレゼントクイズ応募用フォーム

